

# 世羅町立せらにし小学校

## 【本校の実態】

- ・学びに向かう姿勢が確立している。
- ・問題の場面で理解できない。
- ・既習事項を活用できない。
- ・問題から正確な情報を取り出し、整理できない。
- ・自分の言葉で表現できない。

## 【本校の取組】

- 本校の強み（学びの基盤作り）を継続する。
  - 小中9年間を見通して、「せらにし学びの7か条」（学習規律定着のための7つのポイント）を中学校とともに取り組む。
- 児童の実態から、必要な手立てを考える。
  - 「個別の支援シート」「シミュレーションシート」を活用し「視覚化」「焦点化」「共有化」の3つの視点から授業改善を図る。

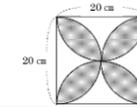
## 【取組の成果】

- 「個別の支援シート」を作成することにより、児童の実態把握からつまずきを予想し、より具体的な手立てを考えることができた。学年が上がった際には、「個別の支援シート」をもとに学習の段階を把握することができた。
- 「シミュレーションシート」を校内研修で活用することで、全員が自分ごととして研修に参加することができた。つまずきに対してどのような手立てがあるか、あらゆる方向から考えていくことで、各自の授業改善に活かすことができた。
- せらにし授業スタイルにおいて、「視覚化」「焦点化」「共有化」の3つの視点を明確にしたことで、児童のつまずきの要因から支援を考えることができた。

（児童）「分かる」「できた」と感じさせることができ、それが学校生活の自信へとつながった。  
 （教員）日頃から児童の状況を見取り、つまずきの要因を探るようになった。

# せらにし授業スタイル【第6学年「円の面積」の実践】

## 問題



葉の形の面積を求めよう。

## 児童Aの場合

### 教師の役割

#### 実態把握

- ・レディネステストから既習内容の定着度や未履修内容の理解度を把握する。

#### つまずき分析

- ・単元内容のつまずきを予想したり、つまずきの要因を分析したりする。

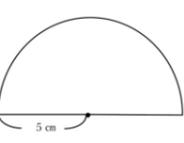
#### 手立て

- ・つまずきを解消する手立てを考える。
- ・見えない考え方を見えるようにする。

#### 結果

- ・学習ノートの内容を考察する。
- ・授業の振り返りを記入する。

### 児童の実態



おうぎ形のまわりの長さを求めたり、円周から半径を求めたりすることが難しい。

- ・正方形の中におうぎ形や二等辺三角形を見つけることができない。
- ・実物の図形と図形を付け加えたり、取り去ったりしないとどんな形になるのかわからない。

- ・葉の形やおうぎ形、二等辺三角形、正方形の紙型を動かして、葉の形の面積を求める方法を見つける。

$$100 - 78.5 = 21.5$$

$$21.5 \times 2 = 43$$

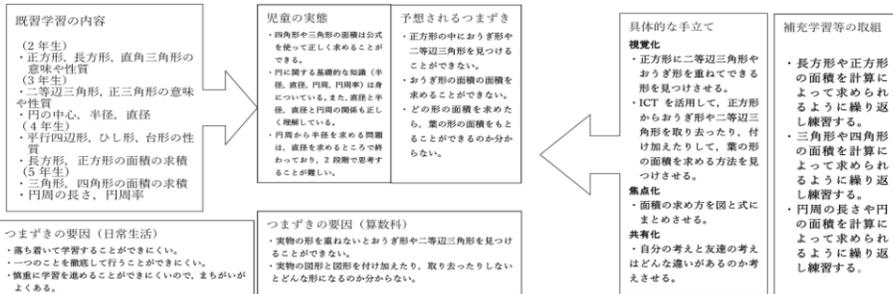
$$100 - 43 = 57$$

- ・おうぎ形や三角形を重ねたり、移動させたりしたら、どんな形になるのかが分かり、葉の形の面積を求めることができました。
- ・最初は、まったく分からなかったけど、友達の説明を聞いたら、いろいろな求め方があったことが分かりました。
- ・葉の形は、知っている形に置き換えたり、図で考えたりすると、求めることができました。

## 授業改善につながる「個別の支援シート」

児童の実態からつまずきの要因を分析し、手立てを記入する。

算数科	6年	氏名	
単元名	円の面積 ～ケーキの大きさは同じ？～		
学習のめあて	葉っぱの形の面積の求め方を考え、説明しよう。		
学習問題	ケーキに四つの葉の模様でデコレーションをします。チョコレート1枚で、だいたい300cmぬれます。この模様を作るには、チョコレート1枚で足りるでしょうか。		



### 視覚化

見えないものを「見える化」し、児童のイメージをわかりやすくさせる。

### 焦点化

児童にねらいを達成するための見通しをもたせたり、「ゴールイメージ」をもたせたりする。

### 共有化

互いの考えを伝え合ったり、確認させたりする。

### 視覚化

ICTを活用して、正方形からおうぎ形や二等辺三角形を取り去ったり、付け加えたりして、葉の形の面積を求める方法を見つけさせる。

### 焦点化

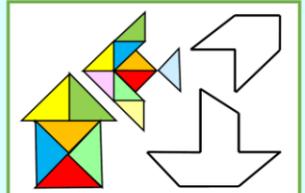
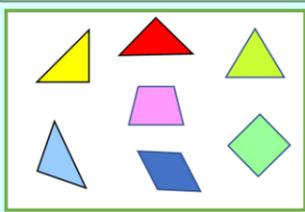
複合図形の中に見える形を確かめさせる。

### 共有化

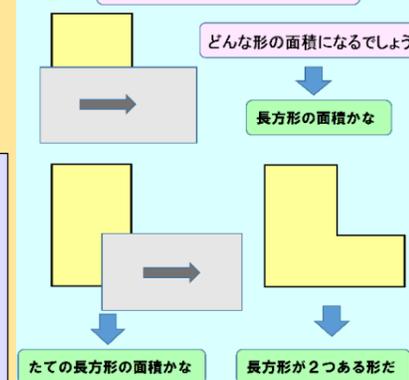
自分の考えと友達の考えはどんな違いがあるのか考えさせる。

## 高学年でのつまずきを解消する下学年での図形領域の指導の工夫

### 図形の合成・分解 第1学年



### 面積の求積（分割）第4学年



はじめは長方形かなと思っていたら、長方形が二つ合わさった形でした。でも、長方形の面積の求め方を使ったら面積を求められることが分かりました。

【中学年】色分けしたり、見え方を工夫したりして、既習の図形が見えるように支援する。

【低学年】中・高学年で既習の図形に着目できるようにするために、具体物を使った算数的活動に取り組む。

## 授業改善につながる

### 「シミュレーションシート」

児童の実態から、効果的な手立てを記入する。児童役としてシミュレーション授業を受けた担任以外の教職員が改善案を記入する。⇒自分の学級の授業改善にも活用

### シミュレーションシート 第6学年算数科「円の面積」

◎本時の目標 多様な方法で円を含む複合図形の面積の求め方を考え、求め方を説明することができる。

